

【教社教養ゼミ】

■ 今週の課題

- 「伝説の立花ゼミ」を読んでみよう。
取材のポイントを引き出しなさい。いろいろな人について「調べて書く」ことで、どんな経験が期待できそうか（どんな経験をしたいか）。
- 「筑紫哲也」と「安倍なつみ」の取材原稿を読み比べてみよう。
内容の点では、どういう違いが見られるか。表現方法の点では、どういう違いが見られるか。

■ 第1回課題

以下の課題に、WebCT というシステム(「もみじ」の右下のバナーからアクセスできます)を通じて回答する。回答は、代表者がおこなう。

- (1) 2人～3人(2人が望ましい)のチームをつくる。メンバーと代表者を決定する。
1人で取り組みたいときは、事前に草原に相談してください。
 - (2) 誰にインタビューしたいか。候補者を最低2人はあげる。
 - ① 候補者はどんな人か、② なぜその人に話を聞きたいか。候補者のプロフィールと注目したい理由、あるいはその人の魅力を、分かりやすく説明しなさい。
 - (3) 今後の調査計画を立てる
 - ① どういうルート・方法で、その人にアクセスし、アポを取るか。
 - ② いつ、どこで、お会いできそうか。
 - ③ どのくらいのペースで文字起こしを行い、いつまでにインタビュー記録として完成させるか(添削を受けるレベルまで仕上げるか)。
- ※ 立花隆+東京大学教養学部立花隆ゼミ著『二十歳のころI・II』ランダムハウス講談社、を早めに入手し、「参考なりそうな書き方」「真似したい書き方」を見つける。図書館で借り出してもいいし、Amazonなどで購入してもよい。
- ※ インタビューの対象と期日が決まったら、草原に連絡をください。必要に応じて、草原から先方へ「依頼状(趣旨説明)」を送ります。
- ※ 希望者には、ICレコーダーを貸与します。事前に連絡をください。音声データはmp3として保存されるので、終了後はデータをiPodなどに移すことで、各自で(分担して)文字起こし作業を行うことができます。

- WebCT への入力締め切り 4月27日(火)10時
- 困ったときは、メールまたは研究室を直接訪ねて、草原と相談してください。